

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-283121

(43)Date of publication of application : 12.10.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-089163

(71)Applicant : NEC CORP

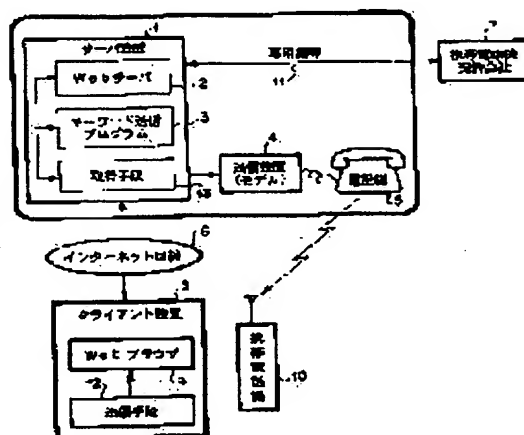
(22)Date of filing : 28.03.2000

(72)Inventor : MIYASHITA SHIGEHIRO

(54) SERVER DEVICE AND CLIENT DEVICE AND COMMUNICATION LINE SHOPPING SYSTEM USING THEM**(57)Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method for improving security performance in electronic commercial transaction by authenticating whether or not the purchaser of merchandise or the like and the owner of a credit card or the like are the same person in Internet shopping.

SOLUTION: In this communication line shopping system equipped with a server device/which provides merchandise or a duty through a communication line and a client device which purchases the merchandise or duty provided through the communication line by the server device, the server device is provided with an obtaining means for obtaining the telephone number of the client through the client device and the communication line and an announcing means for announcing a keyword to the client by dialing the obtained telephone number. Thus, when the announced keyword is returned from the client, the merchandise or duty is provided to the client.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 15.02.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 19.12.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-283121

(P2001-283121A)

(43)公開日 平成13年10月12日(2001.10.12)

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

4 1 4

Z E C

F I

G 0 6 F 17/60

特開2001-283121(参考)

4 1 4

5 B 0 4 9

Z E C

審査請求 有 請求項の数11 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2000-89163(P2000-89163)

(22)出願日 平成12年3月28日(2000.3.28)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 宮下 重博

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74)代理人 100065385

弁理士 山下 稔平

Fターム(参考) 5B049 AA05 BB11 CC05 CC39 EE23

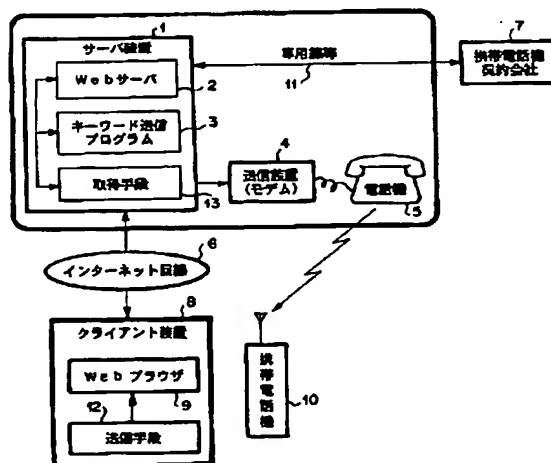
GG02 GG04 GG06 GG07 GG10

(54)【発明の名称】 サーバ装置、クライアント装置及びそれらを用いた通信回線ショッピングシステム

(57)【要約】

【課題】 インターネットショッピングにおいて、商品等の購入者とクレジットカード等の所有者とが同一人物であるかどうか認証することにより、電子商取引におけるセキュリティ性を向上させる手法を提供する。

【解決手段】 通信回線を通じて商品又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置によって前記通信回線を通じて提供される前記商品又は前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムにおいて、前記サーバ装置は、前記クライアント装置及び前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を取得する取得手段と、前記取得した前記電話番号あてに電話して前記クライアントにキーワードを報知する報知手段とを備え、前記報知した前記キーワードが前記クライアントから返信されたときに、該クライアントに対して前記商品又は役務を提供することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信回線を通じて商品の販売又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置から前記通信回線を通じて販売される前記商品又は提供される前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムにおいて、

前記サーバ装置は、前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記電話番号あてに電話して前記クライアントにキーワードを報知する報知手段とを備え、

前記報知手段により報知した前記キーワードが前記クライアントから返信されたときに、該クライアントに対して前記商品を販売又は役務を提供することを特徴とする通信回線ショッピングシステム。

【請求項 2】 前記取得手段は、さらに前記クライアントの氏名、住所を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 3】 前記クライアント装置は、前記電話番号、前記キーワード、前記氏名又は前記住所を送信する送信手段を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 4】 前記キーワードは、音声情報又は可視情報によって報知することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 5】 前記サーバ装置は、前記クライアントに提供した前記商品又は前記役務の購入代金を決済する決済手段を備えることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 6】 前記電話番号は、前記クライアントが所有する携帯電話機に割り当てられている携帯電話機番号であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 7】 前記サーバ装置は、前記携帯電話機の使用者と契約している携帯電話機契約会社に、該携帯電話機契約会社が管理している顧客情報と前記クライアントから送信される前記電話番号及び前記クライアントの氏名とを認証させることを特徴とする請求項 6 に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 8】 前記携帯電話機の前記事業者側で、前記クライアントに提供した前記商品又は前記役務の購入代金を決済することを特徴とする請求項 7 に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 9】 前記通信回線は、インターネット回線であることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の通信回線ショッピングシステム。

【請求項 10】 通信回線を通じて商品の販売又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置から前記通信回線を通じて販売される前記商品又は提供される前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムに用いるサーバ装置において、

前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記電話番号あてに電話して前記クライアントにキーワードを報知する報知手段と、前記報知手段により報知した前記キーワードを前記クライアントから前記通信回線を通じて受信する受信手段とを備え、

前記受信手段により前記キーワードを受信したときに、該クライアントに対して前記商品を販売又は役務を提供することを特徴とするサーバ装置。

10 【請求項 11】 通信回線を通じて商品の販売又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置から前記通信回線を通じて販売される前記商品又は提供される前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムに用いるクライアント装置において、

前記サーバ装置に対して前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を通知する送信手段と、前記サーバ装置から前記送信した前記電話番号に係る電話でキーワードを取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記キーワードを前記通信回線を通じて返信する返信手段とを備え、
前記返信手段により前記キーワードを前記サーバ装置へ返信したときに、サーバ装置側から販売される前記商品又は提供される前記役務を購入することを特徴とするクライアント装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、公衆電話回線、ISDN回線などを用いて形成するインターネット網などの通信回線を通じて、電子商取引を含む商品等の販売等を行う通信回線ショッピングシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、パーソナルコンピュータなどのコンピュータ及び公衆電話回線、ISDN回線などを用いてコンピュータ間を相互に接続するインターネット網などの通信回線の普及に伴い、インターネット回線を通じて、商品等を購入することができる、いわゆるインターネットショッピングと称されるショッピング形態が広まりつつある。

40 【0003】インターネットショッピングでは、まず、商品等の販売者がサーバ装置であるコンピュータなどを使用してホームページを開設し、そのホームページ上に販売している商品等のカタログを掲載して、インターネット回線を通じてカタログ販売に似せた商品等の受注を行えるようにしている。

【0004】そして、商品等の購入者となるクライアントが、自宅や会社に設置しているクライアント装置であるところのコンピュータから、インターネット回線を通じて、商品等の販売者が開設しているホームページにアクセスして、そのホームページ上に掲載されているカタ

ログを参照して、欲しい商品を発注すると、後日、その商品が、販売者側から郵送などによって商品購入者に配達される。

【0005】また、インターネットショッピングでは、商品等の購入代金を商品等の配達者を通じて行ったり、特開平11-102404号公報に記載されているように、クライアント装置で商品の購入を申し込み、その際に指定した金融機関を通じて商品等の購入代金を振り込むという手法が採られている。

【0006】さらに、特開平9-160972号公報に記載されているように、インターネットショッピングにおける商品等の購入代金を、商品等の購入者が商品等を発注したり、受注する際に、クライアント装置で商品等の購入者が所有するクレジットカード等の契約番号を、購入者の氏名、住所などとともにインターネット回線を通じて送信させ、クレジットカード等を通じて決済することもある。

【0007】クレジットカード等を通じて決済する場合には、商品の販売者側では、クレジットカード等の有効性や、商品等の購入者の商品購入金額が、クレジットカード等の利用限度額内であるかどうか判定され、判定の結果、クレジットカード等が有効であり、商品の購入金額がクレジットカード等の利用限度額内であれば、商品等を販売するようにしている。

【0008】ここで、クレジットカード等の契約番号が他人に漏洩し、それによって他人に悪用されることを防止するために、TCP/IP (transmission control protocol/internet protocol) の通信に開発された SSL (Secure Socket Layer) プロトコルや、通信路の完全性を補償するような TLS (Transport Layer security) プロトコルを用いて、クレジットカード等の契約番号を暗号化してインターネット回線上で送受信している。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のインターネットショッピングでは、クレジットカード等の契約番号を暗号化してインターネット回線上で送受信しているが、たとえばクレジットカード等の紛失・盗難などによって他人にクレジットカード等の契約番号を知られた場合であって、且つクレジットカード等の所有者がクレジットカード会社等にクレジットカード等の使用停止の申請等を行っていないときには、そのクレジットカード等を通じて商品等の購入代金の決済がされてしまう場合がある。

【0010】このため、インターネットショッピングにおいて、商品等の購入代金を、クレジットカード等を通じて決済する場合には、商品等の購入者とクレジットカード等の所有者とが同一人物であるかどうか認証できるような手法が提供されることが望まれている。

【0011】そこで、本発明は、インターネットショッ

ピングにおいて、商品等の購入者とクレジットカード等の所有者とが同一人物であるかどうか認証することにより、電子商取引におけるセキュリティ性を向上させる手法を提供することを課題とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明は、通信回線を通じて商品の販売又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置から前記通信回線を通じて販売される前記商品又は提供される前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムにおいて、前記サーバ装置は、前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記電話番号あてに電話して前記クライアントにキーワードを報知する報知手段とを備え、前記報知手段により報知した前記キーワードが前記クライアントから返信されたときに、該クライアントに対して前記商品を販売又は役務を提供することを特徴とする。

【0013】また、本発明は、通信回線を通じて商品の販売又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置から前記通信回線を通じて販売される前記商品又は提供される前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムに用いるサーバ装置において、前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記電話番号あてに電話して前記クライアントにキーワードを報知する報知手段と、前記報知手段により報知した前記キーワードを前記クライアントから前記通信回線を通じて受信する受信手段とを備え、前記受信手段により前記キーワードを受信したときに、該クライアントに対して前記商品を販売又は役務を提供することを特徴とする。

【0014】さらに、本発明は、通信回線を通じて商品の販売又は役務の提供を行うサーバ装置と、前記サーバ装置から前記通信回線を通じて販売される前記商品又は提供される前記役務を購入するクライアント装置とを備えた通信回線ショッピングシステムに用いるクライアント装置において、前記サーバ装置に対して前記通信回線を通じてクライアントの電話番号を通知する送信手段と、前記サーバ装置から前記送信した前記電話番号に係る電話でキーワードを取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記キーワードを前記通信回線を通じて返信する返信手段とを備え、前記返信手段により前記キーワードを前記サーバ装置へ返信したときに、サーバ装置側から販売される前記商品又は提供される前記役務を購入することを特徴とする。

【0015】すなわち、本発明は、サーバ装置側でクレジットカード等の契約番号及びクライアントの電話番号を取得し、その電話番号に係る電話を通じてクライアントにキーワードを報知する。そして、クライアント装置

にキーワードを返信させるようにして、商品の購入者であるクライアントとクレジットカードの所有者とが一致するかどうかを確認する。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について、図面を参照して説明する。

【0017】1. 本実施形態の構成

図1は、本発明の実施形態の通信回線ショッピングシステムの構成図である。図1に示している本実施形態の通信回線ショッピングシステムは、商品又は役務の提供を行い且つクレジットカードや、銀行、郵便局などのキャッシュカード、デビットカードを通じて商品等の代金の決済処理を行うネットワークサーバであるサーバ装置1を備えている。

【0018】サーバ装置1には、Webサーバプログラムを実行するためのWebサーバ2と、商品等の購入者が所有する携帯電話機10に対してキーワードを送信するためのキーワード送信プログラム3と、後述する送信手段12によってクライアント装置8側から送信されるクライアントの氏名、住所、電話番号、クレジットカード等の契約番号などのクライアント情報を取得する取得手段13とを備えている。

【0019】なお、クライアント情報のうち、少なくともクレジットカード等の契約番号は、たとえばSSL (Secure Socket Layer) プロトコルや、TLS (Transport Layer security) プロトコルを用いて暗号化した後にインターネット回線6を介して送受信するようにしている。

【0020】また、サーバ装置1には、キーワード送信プログラム3によって送信されるキーワードを携帯電話機10へ送信するための電話機5が、送信装置(モデム)4を介して接続されている。なお、携帯電話機10は、送信装置4及び電話機5によって送信されるキーワードを可視情報として受信する受信手段を備えている。さらに、携帯電話機10に対して、キーワードを可視情報として送信するときには、たとえば後述する携帯電話機契約会社7が携帯電話機10に対して行っている文字情報送信サービスを利用する。

【0021】さらに、携帯電話機10が、電子メールを受信できる電子メール受信手段を備えているものであれば、クライアント情報として、電子メールアドレスをサーバ装置1へ送信することにより、キーワードを、電子メールによって取得することができる。電子メールを活用すると、サーバ装置1側から携帯電話機契約会社7に対して、電子メールアドレスが正しいかどうかを確認してもらう必要があるが、サーバ装置1側に発信装置4及び電話5を設けることが不要となる。

【0022】さらに、サーバ装置1は、インターネット回線6などの通信回線を通じて商品等の購入者が所有するクライアント装置8とインターネットで接続されてい

る。クライアント装置8としてパーソナルコンピュータや、モバイルなどの携帯端末を使用し、これにはサーバ装置1が開設しているホームページを見るための情報Webブラウザ9と、Webブラウザ9によって見るホームページに掲載されている案内に基づいてクライアント情報を送信する送信手段12とが備えられている。

【0023】また、サーバ装置1には、後述する図3(a)～図3(d)に示すように、クライアントに、顧客情報やキーワードを入力させるための画像を表示する表示プログラムが格納されている。

【0024】なお、図1には1台のサーバ装置1に対して1台のクライアント装置8を接続している様子を図示しているが、実際には、クライアント装置8はインターネット回線6を介して複数台接続されている。

【0025】また、サーバ装置1は、携帯電話機10の契約会社である携帯電話機契約会社7とたとえば専用線等11を介して接続されている。携帯電話機契約会社7は、一般に、携帯電話機10の所有者に対して通話サービスや、文字情報送信サービスなどを提供しているが、本実施形態では、さらに携帯電話機10の所有者と商品等の購入者とが同一人物であるかどうかを認証するためにサーバ装置1から専用線等11を介して送信されるクライアント情報と携帯電話機10の使用の契約時に携帯電話機10の使用者から入手した名前、住所などの所有者情報とを照合するサービスや、電話料金とともに商品等の購入代金の支払いを行えるサービスを提供できるようにしている。

【0026】なお、図1ではサーバ装置1と携帯電話機契約会社7とを、専用線等11で接続しているが、専用線等11としては、たとえば公衆電話回線、ISDN回線などである。また、サーバ装置1と携帯電話機契約会社7とを、インターネット回線6を用いて接続してもよい。

【0027】2. 本実施形態の動作

図2は、図1に示した通信回線ショッピングシステムを用いてインターネットショッピングをする手順を示すタイミングチャートである。図3は、クライアント装置8側のモニタなどの表示部にWebブラウザ9によって表示される画像を示す図である。図4は、携帯電話機10の表示部に表示される画像を示す図である。図2～図4を用いて本実施形態の通信回線ショッピングシステムにおけるインターネットショッピングの手順について説明する。

【0028】まず、商品等の販売者が、サーバ装置1及びWebサーバ2を使用して、ホームページを開設し、そのホームページ上に販売している商品等のカタログを掲載する。これにより、インターネット回線6を通じて、商品等の受注を行えるようにする。すなわち、インターネットショッピングが行える状態にする。

【0029】また、商品等の販売者は、クライアント装

置8側から送信されるクライアント情報が、携帯電話機契約会社7が管理している顧客情報に基づいて正しいかどうかを、携帯電話機契約会社7側で認証してもらうように、あらかじめ携帯電話機契約会社7と認証確認可能のように契約しておく。

【0030】インターネットショッピングが行えるようにしている状態で、クライアントとなる商品等を購入しようとする者が、自宅や会社に設置しているクライアント装置8及びWebブラウザ9を使用して、インターネット回線6を通じてサーバ装置1側で開設しているホームページにアクセスすると(ステップS1)、サーバ装置1側からインターネット回線6を通じてクライアント装置8側へ、図示しない商品カタログ等の情報が送信され(ステップS2)、クライアント装置8のモニタなどの表示部に、商品カタログが表示される。

【0031】つぎに、クライアントが、表示されている商品カタログ等の各商品等に付されている商品番号等を表示画面の案内に従って入力したり、各商品の画像部分をクリックして購入したい商品等を選択する。購入したい商品等を選択し終えると、選択した商品等の選択情報がサーバ装置1側へ送信される(ステップS3)。すると、クライアント装置8の表示部には、図3(a)に示すような画像が表示される(ステップS4)。

【0032】クライアントは、この画像に応じて、「名前」、「住所」及び「電話番号」などのクライアント情報を入力すると、Webブラウザ9によってインターネット回線6を通じて、サーバ装置1側へ入力したクライアント情報が送信される(ステップS5)。なお、ここでは「電話番号」は、携帯電話機10の電話番号を用いる場合を例に説明するが、これに限定されず、たとえば実際にインターネット回線6に接続している図示しない電話機の電話番号でもよい。

【0033】つづいて、サーバ装置1は、送信されたクライアント情報等をWebサーバ2及び取得手段13によって取得する。そして、携帯電話機契約会社7に対して、専用線11を通じてクライアント情報を送信し、携帯電話機契約会社7で管理している所有者情報に基づいて、クライアント情報に間違いがないかどうかの確認をしてもらうように依頼する(ステップS6)。

【0034】携帯電話機契約会社7は、送信されたクライアント情報を受信すると、クライアント情報のたとえば「電話番号」によって所有者情報を検索して、その電話番号に係る所有者情報の「名前」、「住所」の内容と受信したクライアント情報の「名前」、「住所」の内容とが一致するかどうかを判別する。そして、その判別結果をサーバ装置1へ返信する(ステップS7)。

【0035】サーバ装置1は、携帯電話機契約会社7から返信された判別結果が、所有者情報とクライアント情報とが一致していない場合には、クライアント装置8側に、たとえば「残念ながら、山田太郎様が入力したデー

タに誤りがあるため、インターネットショッピングをご利用できません。」というメッセージをクライアント装置7のモニタに表示させて、インターネットショッピングを終了させる。

【0036】なお、所有者情報とクライアント情報とが一致していない場合のほかに、クライアントが入力したクレジットカード等の契約番号に基づいて、図示しない信用保証機関にクライアントのクレジットカードの利用料金の支払い状況などを確認し、料金滞納があるような場合にも、上記メッセージをクライアント装置7のモニタに表示させて、インターネットショッピングを終了させる。

【0037】一方、携帯電話機契約会社7から返信された判別結果が、所有者情報とクライアント情報とが一致している場合には、キーワード送信プログラム3を実行する(ステップS8)。具体的には、サーバ装置1から送信装置4に対して、携帯電話機10へ数字や英字などを組み合わせたキーワードを送信するようなコマンドが出される。なお、ここではキーワードを、たとえば「a5bd56elf7」としている。

【0038】また、送信装置4は、このコマンドを受けると、サーバ装置1に対してコマンドを受けた旨を返信する。また、送信装置4は、上記コマンドに基づいて、電話機5を使用して、たとえば携帯電話機契約会社7が行っている文字情報送信サービスなどにより、携帯電話機10へキーワードを送信する(ステップS10)。

【0039】つづいて、サーバ装置7は、インターネット回線6を通じて、クライアント装置8へ図3(b)に示すような内容の画像データを送信する(ステップS11)。クライアント装置8では、受信した画像データを、Webブラウザ9を用いて表示部に表示する。クライアントは、図3(b)に示す画面の表示に従って、クレジットカードの契約番号及びステップS10で携帯電話機10に送信されているキーワードを入力する(ステップS12)。

【0040】すると、これらの情報が、インターネット回線6を通じて、サーバ装置1へ送信される(ステップS13)。なお、少なくとも、クレジットカードの契約番号は、インターネット回線6内で秘匿性を確保するために、SSLなどのプロトコルを用いて暗号化した後に送信している。サーバ装置1は、返信されたキーワードが送信したキーワードと一致するかどうかを判定し、これらが一致する場合には、図示しないクレジットカード会社等にクレジットカード等と通じて商品等の購入代金を決済する。

【0041】そして、サーバ装置1側からインターネット回線6を介して、クライアント装置2に、図3(c)に示すような内容の画像データを送信する(ステップS14)。クライアント装置8で、このデータを受信すると、Webブラウザ9を用いて図3(c)に示すような

画像を表示部に表示する。クライアントは、表示された「名前」、「キーワード」等に間違えないかどうか確認する。

【0042】「確認」が終了すると、図3(d)に示すような内容の画像データがサーバ装置1から送信され、クライアント装置8の表示部に表示される。そして、インターネットショッピングが終了する。

【0043】なお、本実施形態では、携帯電話機契約会社7が携帯電話機10の利用者に対して行っている文字情報送信サービスや、電子メールを活用して、キーワードを商品等の購入者に報知する場合を例に説明したが、たとえばサーバ装置1側のオペレータが、携帯電話機10や、実際にインターネット接続のためにプロバイダに接続している図示しない電話機あてに電話をかけて音声情報によって報知してもよい。

【0044】(他の実施形態)実施形態1では、サーバ装置1がクレジットカード会社に対して商品等の購入代金の決済を行う場合を例に説明したが、クライアントに了解を得た後に、たとえば商品等の購入代金を携帯電話機契約会社7へ通知することによって、携帯電話機契約会社7から商品等の購入者に対して、携帯電話機10の通話料金とともに商品等の購入代金を請求するようにしてもよい。

【0045】この場合、携帯電話機契約会社7を通じて商品等の購入代金を請求するには、商品等の購入代金の支払い手続きをスムーズに行うために、サーバ装置1側から携帯電話機契約会社7に対して、あらかじめ携帯電話機10の使用者の電話料金の支払い状況などを問い合わせた結果、通話料金の支払いの滞納が無いなどと判明したときにのみ行うことが望ましい。

【0046】さらに、サーバ装置1では、クライアントに商品等を販売すると共に、請求書を送るようにして、請求書を受け取ったクライアントが、銀行やデビットカード加盟店でキャッシュカードやラビットカードを利用して、購入代金の支払いをするようにしてもよい。

【0047】

【発明の効果】以上、説明したように、本発明の通信回線ショッピングシステムは、クライアント装置及び通信回線を通じてクライアントの電話番号を取得して、その電話番号あてに電話してクライアントにキーワードを報

知する。そして、報知したキーワードが前記クライアントから返信されたときに、クライアントに対して商品等の提供するため、商品等の購入者とクレジットカード等の所有者とが同一人物であるかどうか認証することができる。このため、電子商取引におけるセキュリティ性を向上させることができる。

【0048】また、本発明は、クライアントがサーバ装置からクライアント装置へキーワードを送信し、そのキーワードがクライアント装置から通信回線を通じて返信され、且つクライアントが入力したクレジットカード等の契約番号に基づいて、そのクライアントのクレジットカードなどの利用料金の支払い状況などの信用性が確認されたとき、すなわち2重経路によってクライアントの信頼性を確認した上で商品等を販売等するため、通信回線ショッピングの安全性を確保することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態の通信回線ショッピングシステムの構成図である。

【図2】図1に示した通信回線ショッピングシステムを用いてインターネットショッピングをする手順を示すタイミングチャートである。

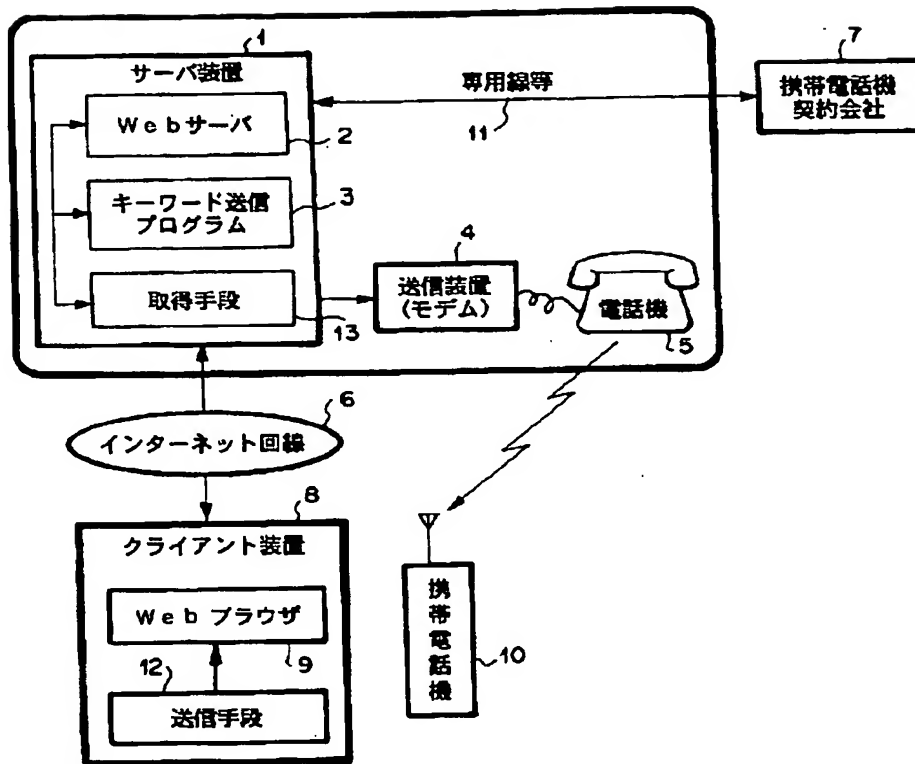
【図3】クライアント装置側のモニタなどの表示部にWebブラウザによって表示される画像を示す図である。

【図4】携帯電話機の表示部に表示される画像を示す図である。

【符号の説明】

- 1 サーバ装置
- 2 Webサーバ
- 3 キーワード送信プログラム
- 4 送信装置
- 5 電話機
- 6 インターネット回線
- 7 携帯電話機契約会社
- 8 クライアント装置
- 9 Webブラウザ
- 10 携帯電話機
- 11 専用線
- 12 送信手段
- 13 取得手段

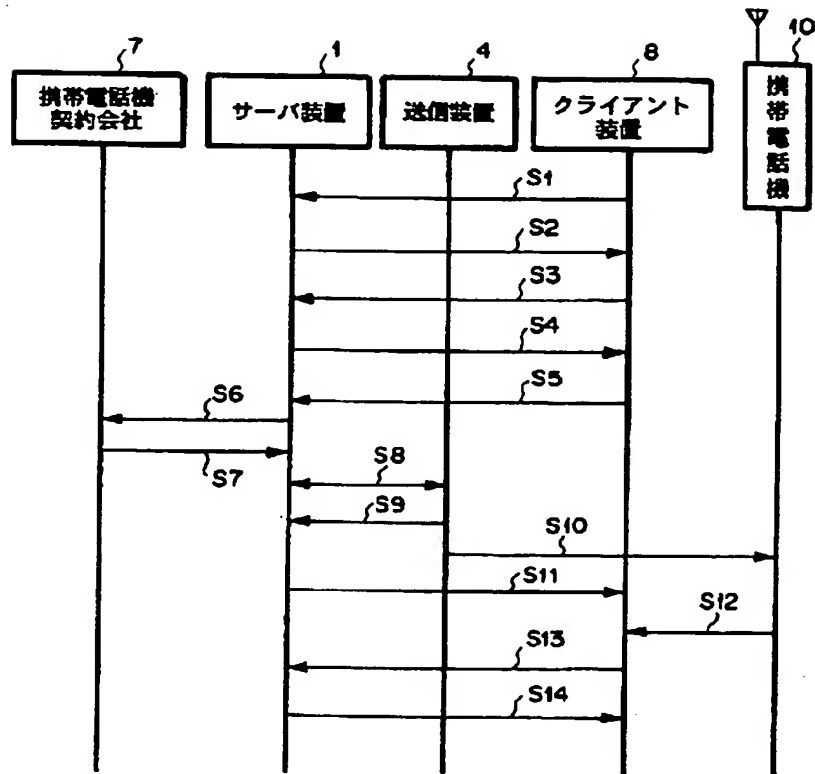
【図1】



【図4】



【図2】



【図3】

(a)	(b)	(c)	(d)
<p>Webブラウザ</p> <p>お客様のご連絡先を入力してください。キーワードはご記入のお電話番号に通知されます。</p> <p>お名前 <input type="text" value="山田 太郎"/></p> <p>ご住所 <input type="text" value="東京都港区三田"/></p> <p>お電話 <input type="text" value="090-XXXX-0000"/></p> <p><input type="button" value="送信"/> <input type="button" value="リセット"/></p>	<p>Webブラウザ</p> <p>先程のお電話番号に通知させていただいたキーワードとクレジットカード番号(12桁)を入力してください。</p> <p>お名前 <input type="text" value="山田 太郎様"/></p> <p>キーワード <input type="text" value="a5bd56e1f7"/></p> <p>クレジット <input type="text" value="012345678910"/></p> <p><input type="button" value="送信"/> <input type="button" value="リセット"/></p>	<p>Webブラウザ</p> <p>以下の情報で間違いないでしょうか?ご確認後に[確認]を押してください。</p> <p>お名前 <input type="text" value="山田 太郎様"/></p> <p>キーワード <input type="text" value="a5bd56e1f7"/> クレジット <input type="text" value="012345678910"/></p> <p>商品 <input type="text" value="CD-ROMドライブ"/></p> <p>合計金額 <input type="text" value="30,000円(込)"/></p> <p><input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="戻る"/></p>	<p>Webブラウザ</p> <p><u>*お買い上げありがとうございました。</u></p> <p>山田 太郎様のまたのご利用をお待ち申し上げます。</p> <p><input type="button" value="トップへ"/></p>